

日比谷野音90周年を記念して、 「SLS」が春の野音で復活開催！

音楽の聖地で豪華アーティストが夢の共演！

初日のトリはサンボマスター、大トリは東京スカパラダイスオーケストラ、 サプライズゲストにハナレグミが登場！

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日本最大の音楽専門チャンネル スペースシャワーTVは、日比谷野音開設90周年を記念して「日比谷野音90周年記念 SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京」を5月3日(金・祝)、5月4日(土)の2日間にわたり、東京・日比谷野外大音楽堂にて開催いたしました。

イベントには各日6組、合計12組の豪華アーティストが出演。初日のイベントのトリをサンボマスター、大トリを東京スカパラダイスオーケストラが務めました。

東京スカパラダイスオーケストラのアンコールでは、ハナレグミがサプライズ出演。

2曲を熱唱し、イベントの締めくりにふさわしいコラボレーションを披露しました。

つきましては是非貴社番組内で取上げていただけたら幸いです。

ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。

＜イベント概要＞

日比谷野音90周年記念 SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京

(読み:ヒビヤオンキョウジュウシュウネンキネン スペースシャワースウィートラブシャワー ニセンジュウサン イン トウキョウ)

日時:5月3日(金・祝)、5月4日(土) 開場14:00 開演15:00 終演:20:00

場所:日比谷野外大音楽堂 動員数:6000人(2日間合計)

出演アーティスト:

day1:アナログフィッシュ、andymori、クリープハイブ、サンボマスター、ドレスコース、POLYSICS

day2:奇妙礼太郎トラベルスイング楽団、group_inou、GOMA & The Jungle Rhythm Section、

東京スカパラダイスオーケストラ、仲井戸“CHABO”麗市、レキシ

イベントオフィシャルサイト www.sweetloveshower.com/tokyo



イベントLOGO

このイベントの様相をスペースシャワーTVで2日間に渡りオンエア！

番組タイトル:SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京 day1/day2

初回放送: day1 : 6/8 (土) 21:00~22:30 day2 : 6/9 (日) 21:00~22:30

山中湖での「SWEET LOVE SHOWER」は富士山のふもとで2日間開催！

さらに今年は前夜祭イベント「Twilight Shower」も開催！

2007年から山中湖に場所を移し、山中湖では7回目、合計で18回目の開催となる「SWEET LOVE SHOWER」は、今年も夏休み最後の土日、8月31日(土)、9月1日(日)に山中湖交流プラザきららで行われます。

さらに、今年は前日の8月30日(金)に前夜祭イベントとして「Twilight Shower」の開催も決定。

5/8(水)12:00に第一弾出演アーティストの発表を予定しております。ますますの盛り上がりをもせるイベント「SWEET LOVE SHOWER」に今後もご期待ください。

【SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2013】

2013年8月31日(土)、9月1日(日)山梨県 山中湖交流プラザきらら <http://www.sweetloveshower.com/>

【Twilight Shower】※SWEET LOVE SHOWERの前夜祭イベントとして開催

2013年8月30日(金)山梨県 山中湖交流プラザきらら <http://www.sweetloveshower.com/twilight/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツプロモーション部

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshower.tv.com/>

担当:市橋 創 080-1188-1349 ichihashi@spaceshower.net

◆オフィシャルイベントレポート

野音「SWEET LOVE SHOWER」に12組登場！ 晴天のもと6000人が熱狂

スペースシャワーTV主催のライブイベント「日比谷野音90周年記念 SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京」(SLS東京)が5月3、4日に東京・日比谷野外大音楽堂で開催された。

5月3日、快晴の野音にまず登場したのはドレスコース。「誰も知らない」「Lolita」を披露した後、志磨遼平(Vo)はこの日の日比谷公園でさまざまなイベントが開催されていることについて「今日は周りが騒がしいね」「でも一番音が大きいのは僕らだよ」とコメントする。そしてバンドはこの日初披露となる新曲や「ベルエポックマン」をパンキッシュにプレイした。

続くアナログフィッシュは美しいハーモニーが光る「抱きしめて」でライブをスタートするも、その後は一転。「ポストンで起こったことにはとても心を痛めています」と語る下岡晃(Vo, G)が、バンドとシーケンサーが織りなすビートをバックに「PHASE」や「Hybrid」をシリアスに歌い上げた。

3番手のクリーブハイブのステージはアップリフティングなナンバー中心の構成に。「HE IS MINE」では尾崎世界観(Vo, G)が「ゴールデンウィークで家族連れの方たちが公園に来てから今日は絶対に言わないでくださいね」とわかりやすくネタ振り。3000人の観客はその声に笑顔で応え、東京のと真ん中で「セックスしよう！」と大合唱した。

夕間の中、野音の舞台に現れたandymoriは、ファンファン(くるり / Tp, Key)をサポートメンバーに迎えた、小山田壮平(Vo, G)曰く「fandymori」仕様。「1984」「青い空」「革命」「クラブナイト」というミディアムチューンとアッパーチューンを巧みに織り交ぜたセットリスト、そしてバンドのタイトなプレイとファンファンの鋭いトランベットの音色に大きな歓声が集まった。

夜のとばりが降りてPOLYSICKSのSE「Heavy POLYSICK」が鳴り響くと観客は思い思いのステップを踏み始める。それに合わせるかのようにバンドは「Let's ダバダバ」「Young OH! OH!」や新曲「Mega Over Drive」など、ハードなセットを繰り広げ、ダンスフロアと化した客席を熱狂の渦に包み込んでいった。

この日のトリとなるサンボマスター山口隆(Vo, G)は開口一番「踊りまくんなかったら今日でゴールデンウィークを終わらせっかな、この野郎！」とさらなる盛り上がり要求。その後も「青春狂騒曲」「世界をかえさせておくれよ」を轟音でプレイしながら、地面が揺れるほど激しく踊る3000人を「スペシャルに雇われた人たちですか？」と挑発し続ける。そして「自分たちの意志でスゲーことをやりに来たんですよ!?」と絶叫し「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」「できっこないを やらなくちゃ」をあらん限りの大声でがなり立てた。

アンコール代わりの「ロックンロール」コールが巻き起こると、山口は「今日3000人とロックンロールって言えたことを誇りに思っただけで家に帰る」と自身の言葉にどこまでも応えてくれた観客に感謝の言葉を贈る。ラストは「ロックンロール イズ ノットデッド」をこの日一番の大音量でかき鳴らし、「SLS東京」初日を締めくくった。

初日以上の好天に恵まれた「SLS東京」の2日目は、GOMA & The Jungle Rhythm Sectionのパフォーマンスから幕を開けた。リズム隊による軽やかなセッションをバックにGOMAはディジュリドゥを歌うように吹き、うわりのあるサウンドで観客を踊らせていく。ラストの「ONE GROOVE」ではハンドクラップを演奏と融合させ、野音に一体感をもたらした。

2番手の奇妙礼太郎トラベルスイング楽団は、陽気で豊かなアンサンブルでハッピーな空気を作り出していく。特に盛り上がりを見せたのは、静かな始まりからダイナミックに展開していく「星に願いを」のカバーと、観客の大合唱が自然に起きた「オー・シャンゼリゼ」。彼らの奔放なステージは、「イエーイ！」と叫ぶ奇妙の笑顔とともに終了した。

「こんちわー。あんまり天気がいいんで、散歩がてら寄ってみました」とビール片手に登場したのは仲井戸“CHABO”麗市。何度も野音のステージに立っている彼らしく、「俺んちの庭によろこ」と語るとギター1本の弾き語り「上を向いて歩こう」のカバーなどを洪い声で歌い上げる。ポエトリーリーディングに続いて始まった「ガルシアの風」では、強い願いを込めた歌詞に観客が聴き入り、激かな拍手で仲井戸の熱演を讃えた。

イベントの起爆剤の役割を果たしたのは、袴姿で現れるや否や黄色い歓声を浴びたレキシ。彼は異様な歓迎ぶりと盛り上がり「ホントどうかしてる！」と言いつつも、「きらきら武士」や「大奥～ラビリンズ～」などダンスブルなナンバーで観客を喜ばせる。ラストの「狩りから稲作へ」では「INAHO」コールを巻き起こし、最後はなぜかCHAGE and ASKAの「SAY YES」のワンフレーズで締めくくるといふカオスぶりを見せた。

すっかり日が暮れた野音を深夜のクラブへと変貌させたのはgroup.inou。まずは自己紹介がてら「ORIENTATION」で深い世界へと誘い、そのあとは一転して「JUDGE」「KNUCKLE」とアッパーチューンを次々と披露していく。序盤はおとなしく観ていた観客も、「RIP」が始まる頃には思い思いにステップを踏み、2人が繰り出すサウンドを全身で楽しんでいった。

2日間のイベントのトリを飾ったのは、海外フェス帰りの東京スカパラダイスオーケストラ。9人の奏でるダイナミックなサウンドにあわせてオーディエンスは体を揺らし、会場はコンクリートの床が揺れるほどの熱狂的な空間に変化する。さらにアンコールではハナレグミとレキシがシークレットゲストとして登場。スカテイストに仕立てられた「オリビアを聴きながら」のカバーと、ポジティブなメッセージソング「太陽と心臓」をセッションし、お祭り騒ぎに拍車をかけた。そしてラストナンバーとして鳴らされたのは「DOWN BEAT STOMP」。ステージも客席も踊り狂い、盛り上がりは最高潮に。谷中敦(B.sax)の「ありがとう！」という叫びで「SLS東京」は終幕した。

計6000人を動員した「SLS東京」の様子は、6月8日(土)と6月9日(日)にスペースシャワーTVで放送される。幸せな空気に満ちた2日間を、今度はオンエアで楽しもう。

なお、夏に山中湖で開催される「SWEET LOVE SHOWER 2013」は8月31日(土)、9月1日(日)に山梨県 山中湖交流プラザきららで行われる。さらに今年は前日の8月30日(金)に前夜祭イベントとして「Twilight Shower」の開催も決定している。5月8日(水)12:00に両イベントの第一弾のアーティスト発表が予定されているので、お楽しみに。

◆各アーティストセットリスト

「SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京」5月3日公演

ドレスコース

※アーティストの意向により、一部セットリストを非公開とさせていただきます。

アナログフィッシュ

01. 抱きしめて
02. Good bye Girlfriend
03. PHASE
04. Hybrid
05. I Say

クリープハイプ

01. 社会の窓
02. HE IS MINE
03. イノチミジカシコイセヨオトメ
04. 愛の標識
05. 憂、燦々
06. オレンジ
07. おやすみ泣き声、さよなら歌姫

andymori

01. 1984
02. ベンガルトラとウイスキー
03. 革命
04. Sunrise & Sunset
05. 青い空
06. ユートピア
07. FOLLOW ME
08. クラブナイト
09. 投げKISSをあげるよ

POLYSICS

01. Let's ダバダバ
02. シーラカンス イズ アンドロイド
03. Everybody Say No
04. 新曲
05. How are you?
06. Young OH! OH!
07. Lucky Star

サンボマスター

01. 青春狂騒曲
02. 恋する季節
03. 世界をかえさせておくれよ
04. そのぬくもりに用がある
05. 世界はそれを愛と呼ぶんだぜ
06. できっこないを やらなくちゃ
- <アンコール>
07. ロックンロール イズ ノットデッド

「SWEET LOVE SHOWER 2013 in 東京」5月4日公演

GOMA & The Jungle Rhythm Section

01. OMOTINO
02. RIODIDGENEIRO
03. ONE GROOVE

奇妙礼太郎トラベルスイング楽団

01. タンバリア
02. 機嫌なおしておくれよ
03. わるいひと
04. 新曲
05. ツイストで踊り明かそう
06. 星に願いを
07. オー・シャンゼリゼ

仲井戸"CHABO"麗市

01. Route 66
02. 打破
03. アメリカンフットボール
04. 上を向いて歩こう
05. ガルシアの風

レキシ

01. きらきら武士
02. 大奥〜ラビリンス〜
03. 狩りから稲作へ

group_inou

01. ORIENTATION
02. JUDGE
03. SOS
04. KNUCKLE
05. 新曲
06. COMING OUT
07. RIP

東京スカパラダイスオーケストラ

01. shot in the dark
02. 非常線突破
03. スキャラバン
04. Born to be Wild
05. SKA ME CRAZY
06. ルパン三世'78
07. 5 days of TEQUILA
08. King of the Ants
- <アンコール>
09. オリビアを聴きながら secret guest / ハナレグミ
10. 太陽と心臓 secret guest / ハナレグミ
11. DOWN BEAT STOMP